



Your Company × **x'top**

東・東南アジア向け
小型SUSHIマシンの協業販売店提携のご提案

x'top

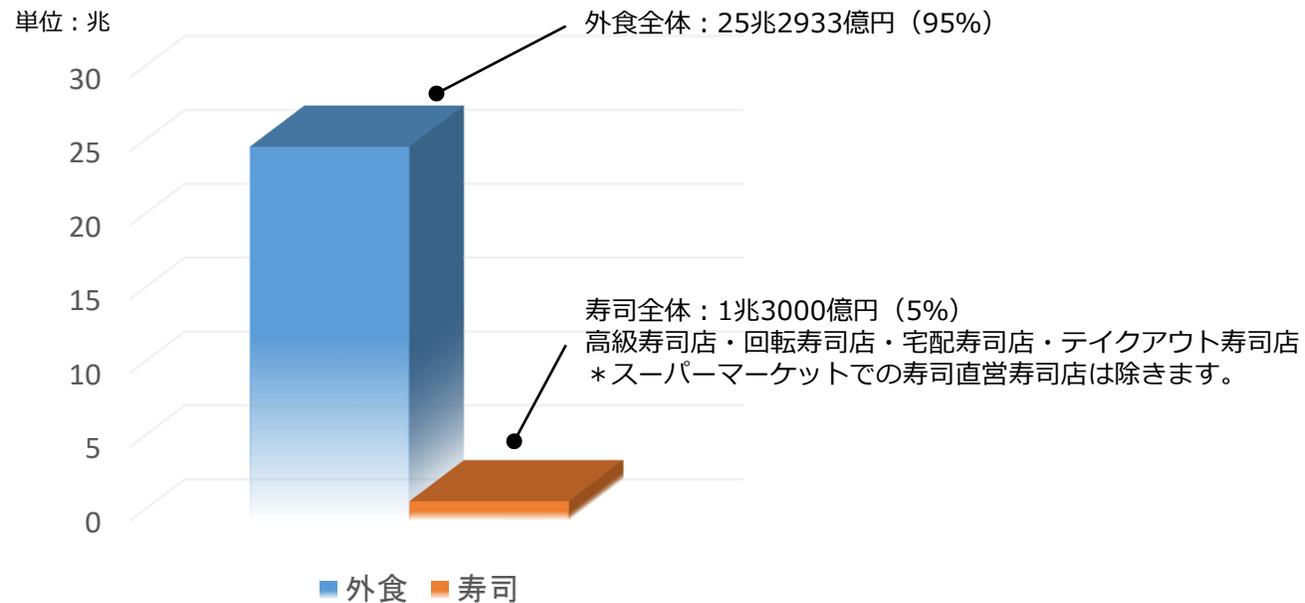
世界で“僅か4社”しか存在しない日本のSUSHIマシンメーカー

現在、SUSHIマシンのメーカーは日本で4社が存在しています。

他厨房機器メーカーに比べてメーカー数が僅かしか存在しない理由は、日本国内の寿司マーケット規模が外食マーケット全体においてはニッチな産業であったことにあります。

しかし、いま日本から世界中へ拡がりつつある“SUSHI”の世界的マーケット規模で考えると、そのメーカー数は希少で貴重な存在になります。

日本の外食産業市場規模



4社が抱える“SUSHI”の世界的マーケットニーズ

世界的に進むヘルシー志向などから海外において“寿司・SUSHI”が注目され、近年では海外各国においてSUSHIのニーズが年々高くなっており、SUSHIマーケットの規模拡大によるSUSHIビジネスの成長展開が海外でも盛んに繰り広げられつつあります。

また、2025年の“OSAKA EXPO”への訪日外国人による、日本食・寿司・SUSHIのマーケットニーズは訪日された外国の人々を通じて、今後も世界各国で更に高まっていくと予測されています。

このように進む海外マーケット環境の中で寿司マシンのニーズも世界的に高まりつつあり、存在する日本メーカー4社が世界で進むSUSHIマシンへのマーケットニーズをリードして獲得していくこととなります。

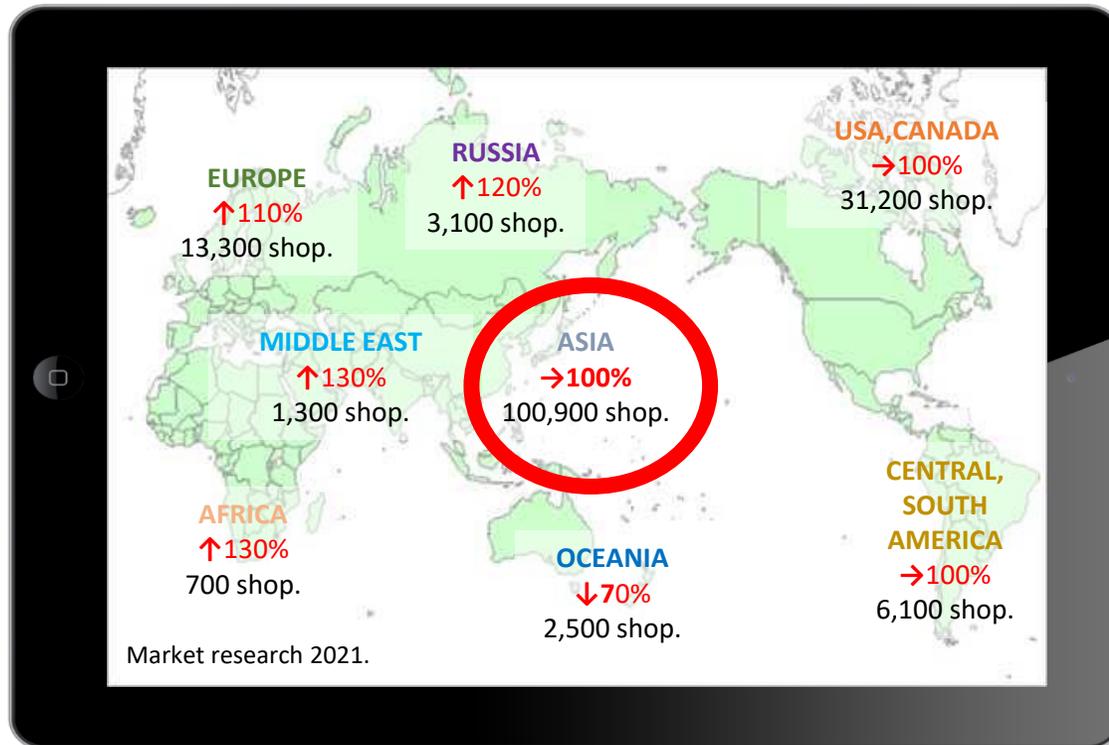
更に、世界の日本食レストランのうち63%がアジアエリアであり、今後の経済成長とともに拡大が予測されます。

海外の日本食レストランは現在『159,000店舗』以上。

24,000店(2006) ⇒ 89,000店(2015) ⇒ 118,000店(2017) ⇒ **159,000店(2021)**



世界各国で親から子へと浸透し成長拡大する“SUSHI”マーケット



訪日による外国人への日本食・寿司・SUSHIの認知・人気は更に高まる

今後、世界のSUSHIマーケットニーズを先行して獲得する“JAPANメーカー”

厨房機器の中でも寿司をつくるという特別な食品加工の機械技術は、日本の食文化から生まれた寿司職人に代わる日本独自の食品機械技術になるため、その製品開発は日本の土壌で長年に渡り繰り返されてきた失敗・経験・技術蓄積が無ければメーカーとしての新規参入が非常に難しいことから、現在に存続するメーカーが今後も世界での寿司マシンニーズをリードして獲得し、日本マーケットと同様に世界でのSUSHIマーケット・SUSHIビジネスの拡大と共に発展し進んで行くと考えられます。



1972年に誕生した“初代巻寿司マシン”



今後も蓄積した技術力を持つ日本メーカーが先駆けて
全世界のマーケットへ展開していく。



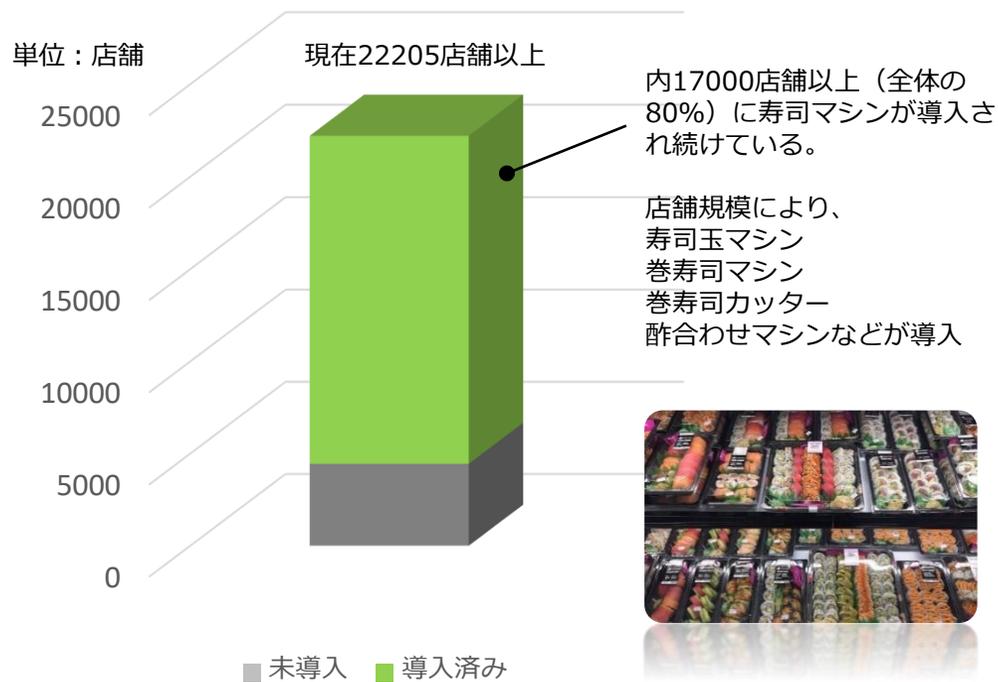
世界各国のマーケットで他社が持たないキラーコンテンツ

先に述べたようなニッチマーケットとSUSHIマシンの特異な技術性からも、新たな企業による製品開発や新規参入は直ぐには考えられにくく、そのことからいま限られたSUSHIマシンメーカーと提携し販売店になることは、海外マーケットが更に拡大展開していく今後の環境下において、他社が持たないキラーコンテンツを先駆けて手に入れることとなります。

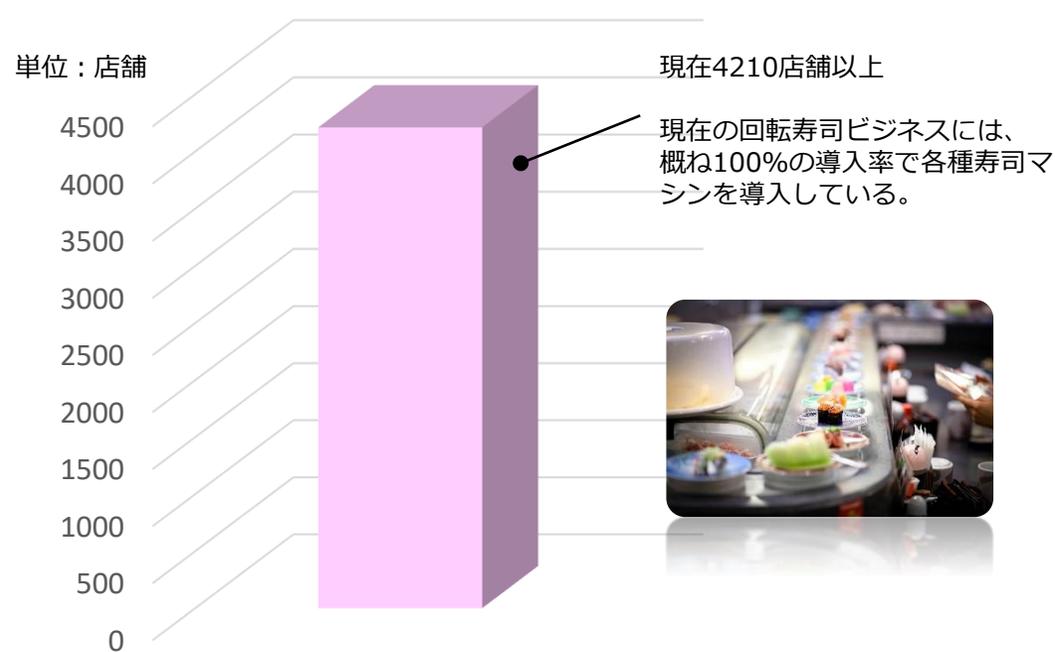
日本での寿司マシンニーズと導入実績

過去、日本の寿司マーケットにおいて本格的な寿司マシンの導入が進み出したのが1990年代のことで、主な寿司マシンの導入ユーザー先としては、テイクアウト寿司専門店・宅配専門店・スーパーマーケット・回転寿司店などとなり、中でも圧倒的な導入実績を占める寿司マシンの導入先顧客は日本国内の各地域に存在する大小さまざまなスーパーマーケットの直営寿司コーナーとなっています。

スーパーマーケットへの導入実績



回転寿司店への導入実績

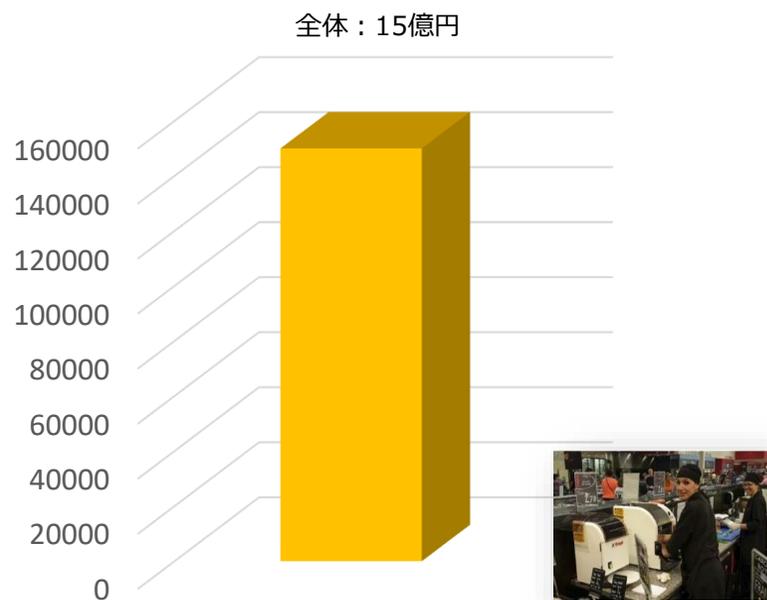


東・東南アジアのSUSHIマシン販売実績状況

世界各国でのSUSHIマーケットの成長拡大に合わせて、SUSHIマシンのニーズも年々高くなってきています。また、昨今では大手スーパーマーケットや既存展開が進んでいるSUSHI SHOPなどへのチェーン店へ向けた導入が始まり出していることから、今後は更にSUSHIマシンの販売マーケット規模は拡大し、販売台数は伸びて行くと予測されます。

参考例：東・東南アジアでの販売実績例

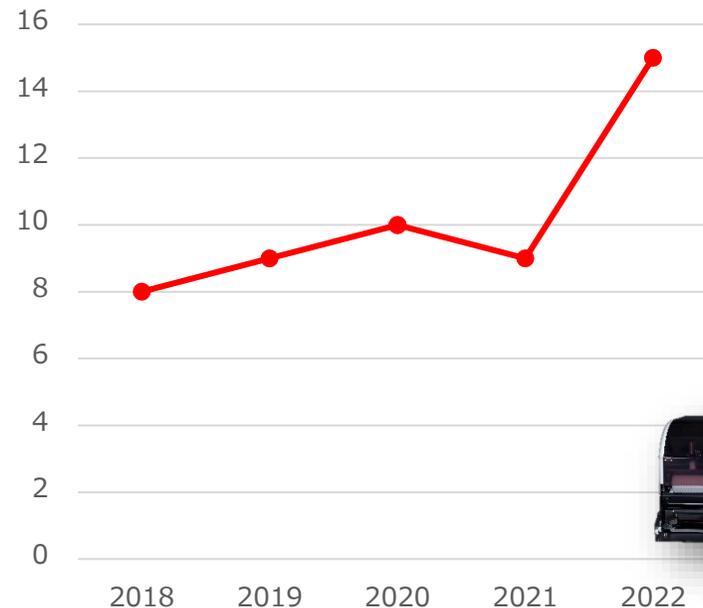
2021年東・東南アジアの売上実績推測



海外への寿司マシン関連の販売・売上実績は着実に伸びている。

東・東南アジアでのSUSHIマシン市場規模予測

単位：億円



海外チェーン店への導入により市場規模は益々拡大傾向にある。

今後の海外SUSHIマシンマーケットの動向

例えば、現時点での欧州のSUSHIマシンの市場規模は全体で12億円ほどがあると推測されていますが、昨今のSUSHIニーズに対する普及大衆化の背景となっている欧州各国の大手スーパーマーケットチェーンへのSUSHIマシン導入事実などから、マーケット規模の拡大は今後も更に加速を続けていくと思われます。

このことは、従来日本でも高級であった寿司が、スーパーマーケットによる手頃な価格での提供により人々の食生活の習慣に寿司が浸透した背景と共に、寿司マシンの普及導入が一気に進んだ背景と同じ道を歩み始めていると十分に考えられます。

また、日本ではスーパーマーケットによるテイクアウトでの寿司の大衆化普及が進んだことにより、外食としても寿司を手軽に食べることのできる回転寿司が本格的にマーケットに受け入れられて、2000年代からチェーン店展開が進み出した回転寿司は、現在では日本だけでも4000店舗を超えるビジネスモデルとして成長を遂げています。

実際の欧州マーケットの例からも、今後のSUSHIの世界マーケットは日本や欧州と同じように成長拡大が進むと考えられます。

【世界のSUSHIマシン導入ユーザーの一例】

数百店舗規模の大手有名チェーン店ユーザーなどへもSUSHIマシンの導入が年々進みだしている。



アジアに広がる小型握りSUSHIマシンのセールスターゲットユーザー



Sushi corner in supermarket



Takeaway sushi shop



Delivery sushi shop



Kaiten sushi



Sushi restaurant



All you can eat restaurant



Hotel Buffet



Sushi factory



Sushi bar



Casual restaurant



Food truck



Party Event



Fish shop



Ramen shop

Other and New business model...
in your country.

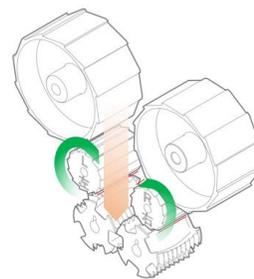
東・東南アジア向け小型握りSUSHIマシン TSM-13

成長するアジアマーケットのニーズを捉えたコンパクト型SUSHIマシン



1個3秒

1時間1200個
特許技術で、美味しく、
形の良い寿司玉が作れ
ます。



硬さ調整機能

好みに応じて寿司玉の
握り加減が、簡単に調
整できます。



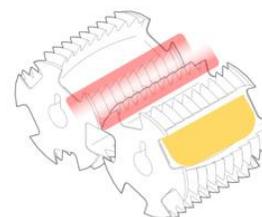
簡単お手入れ

洗浄パーツは30秒で
取り外すことができ、
水洗いができます。



オートストップ

寿司玉が4つ並ぶと、
センサーで自動的にス
トップします。



寿司玉サイズ

16gから30g。ロー
ラーのサイズを変える
ことで変更可能です。



世界電源対応

AC100～240Vに標準
対応。世界各国で使用
できます。

今後に伸び行くマーケットの“コアコンテンツ”を扱うことでのトータル的な売上・収益性の向上波及効果

今後も広がる海外のSUSHIマーケットにおいて“コアコンテンツ”になるSUSHIマシンを扱うことで、既存事業の主力商材や関連商材の販売における競合他社との差別化や提案力強化など、更なる収益性向上を図ることができます。



Dry Food



Fresh Food



Sake, Wine



Tray, Consumables



Sushi Machine



Store, Kitchen design



Lease, Rental

提携協業するアドバンテージとメリット

1. SUSHIマシンの蓄積した経験と技術力

創業1972年、設立30年のSUSHIマシンに特化した老舗ジャパンメーカーになります。

2. 他社が持たない小型SUSHIマシン

狭小スペースでも使用できるため、厨房の場所を取りません。SUSHI SHOPだけでなく、SUSHIも提供するJAPANESE RESTAURANTや居酒屋、ホテルでのバイキングなど、大型の機械と比較し、使えるシーンは多岐に渡ります。

3. 今後において拡大成長を続けるマーケットへのセールスコンテンツ

現在、世界にはさまざまな飲食・外食のビジネスモデルが存在しますが、SUSHIのようにスーパーマーケットのSUSHIコーナー・回転SUSHI・テイクアウトSUSHIショップ・デリバリーSUSHIショップ・SUSHIレストラン・バフェー・ホテルなど、多種多様なビジネスモデルと提供シーンが存在し今後も世界的に成長拡大が見込まれるマーケットは、現在のところSUSHIマーケット以外の他に類を見ることがありません。マーケットが拡大成長する過程で必ず必要とされてニーズが高まるSUSHIマシンへの取り組みを他社に先駆けて進めていくことは、先行者利益が見込め今後に出現してくる競合他社をリードするSUSHIマシンのリーディングカンパニーとなることができます。



成長拡大する海外マーケットへリリースする **x^{top}** のSUSHIマシンラインアップ

握り寿司マシン、巻き寿司マシン、巻き寿司カッターのラインナップ

Sushi Machine



Sushi Roll Machine



Rice Sheet Machine



Sushi Machine



Sushi Machine



Sushi Roll Cutter



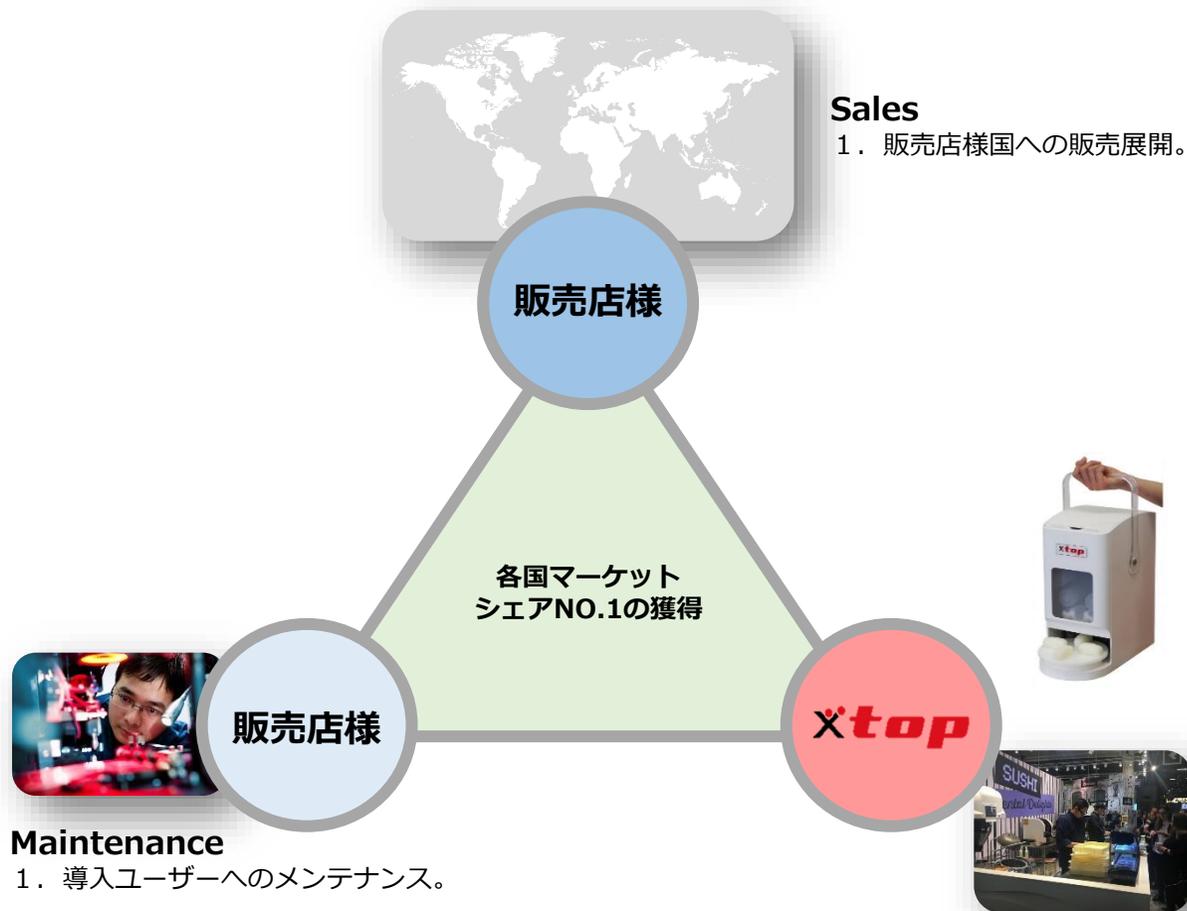
扱いやすく故障が少ない、容易なメンテナンスをコンセプトに製品づくりをしており世界約50か国へ導入しております。モバイル寿司マシンでカバーしきれないニーズをハイスペックモデルで補っています。

モバイル寿司マシンの取扱状況やメンテナンス体制を鑑みて、今後の提案コンテンツにすることが出来ます。



販売店様との提携協業によるTOPの役割

販売店様のターゲット国でマーケットシェアNO.1獲得を目指していただくためのサポートに取り組めます。



販売店募集国

マーケットの規模と販売計画により各国での販売店募集は限定して提携を行います。
御社の国での今後のSUSHIマシンのマーケットチャンスをご検討ください。

Welcome



このマークが付いている国は、販売店契約済み国になりますので既に募集を締め切っています。

成長拡大を続けるグローバルSUSHIマーケットの各国シェアNO.1獲得を目指した提携協業

新型コロナウイルスの世界的な拡大影響を受けて、世界の経済環境は厳しく不確実な状況となっております。しかしながら、世界のSUSHIマーケットにおいては提供のシーンやスタイルを変化させながら、今もなお揺らぐことなく着実にマーケットニーズを高めながら世界各国の食生活の中へ浸透を続けています。

これからも私達を取り巻く環境は平穏な道ではございませんが、これら環境下により生まれる新たな市場や需要・今後のマーケットの変化動向を捉え、今後のマーケットチャンスをタイムリーに獲得し、世界各国でのシェアNO.1を目指した取組み展開を積極的に進めて参りたいと考えております。

今回の東・東南アジア向け小型SUSHIマシンの提携協業をご検討いただきまして、御社と共にターゲット国でのシェアNO.1獲得への道をご一緒に歩めましたら幸いです。

～世界で創られてゆく素晴らしき“SUSHI STORY”のエッセンスカンパニーとなることを目指して～

玉道正彦

PRESIDENT MASAHIKO TAMAKI



Let's make wonderful sushi story.

x*top*
Japanese Sushi-Machine Manufacturer